



埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

県政を身近に!

2015
平成27年
冬季号

県政 報告

Vol.015

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

平成27年の新年を迎えました。「県政を身近に」をモットーに議会ごとに発行してきた武内まさふみ県政報告は、おかげさまで第15号となりました。今回の報告では、12月定例会議の結果と、これからの県政や地域の課題を取り上げました。

今年も総選挙の年です。4月の県議会議員選挙を皮切りに、市町村議会議員、首長、知事選挙と続きます。私にとりましては、1期目の任期を全うしステップアップするための節目の年となります。これからも皆さんと一緒に、地域の活性化に向けて全力で取り組んでまいります。

【災害対策本部】埼玉県危機管理防災センター



【非常用発電機のイメージ】

【災害対策本部支部】非常用都市ガス等発電機設置場所

次の各地域振興センター

南部(川口市)、南西部(朝霞市)、東部(春日部市)、県央(上尾市)、西部(所沢市)、利根(行田市)、北部(熊谷市)、秩父(秩父市)

なお、川越比企(川越市)は、平成27年3月に完成する「西部地域振興ふれあい拠点」に石油系発電機を整備します。



平成26年12月定例会議会 (平成26年12月1日~12月19日)

医療と介護の総合的確保のための基金を創設 ~地域医療体制の整備に本格着手~

一般会計補正予算 42億4,589万7千円

〈補正予算の主な内容〉

「地域医療介護 総合確保基金」 の積み立て (36億5,037万円)

平成26年6月に成立した法律に基づき、新たに基金を積み立て、地域の医療と介護の関連事業に本格的に取り組みます。国が3分の2、県が3分の1負担。

地域で不足する病床機能に転換する場合の改修費用の補助、医師確保や病院内保育所の整備などの事業が対象になります。

今回の補正予算で、この基金を使う次の事業が認められました。

在宅歯科医療の 推進体制の整備 (9,395万円)

19の県歯科医師会支部を地域在宅歯科医療拠点として位置づけ、ポータブルレントゲンなどの在宅医療機器を設置します。また、病院に歯科医師を派遣して、要介護者などの口腔内の状況を把握します。

災害対策本部・支部 への都市ガス非常用 発電機の整備 平成26~28年度で整備 (12億5,885万円)

県庁舎(本部)と地域振興センター(支部)8か所に、現在の重油を燃料とする非常用発電機(72時間稼働)のバックアップとして、都市ガス又はLPガスの非常用発電機(県庁舎:2,000kw、地域振興センター:35kW)を新たに設置します。これにより、災害時でも安定供給が確保され、かつ長時間の発電が可能になります。

〈主な条例〉

■県立浦和図書館を廃止する改正条例

浦和図書館を平成27年4月1日に廃止します。今後は、熊谷、久喜の2図書館となります。浦和図書館所蔵の図書類は、すべて熊谷図書館に移転します。

■行政手続条例の一部改正条例

条例に違反する事実を発見した人が、その是正のための処分や行政指導を求めることができるようになります。また、法律や条例にそぐわない行政指導を受けたと思う人が、その中止等を求めることができるようになります。

■職員給与の改定

◆知事、教育長など特別職

期末手当 年間2.95月→3.10月(+0.15月)

◆職員の給与

①給料月額引き下げ(平成30年まで緩和措置あり)

ただし若年層は引き上げ。

②地域手当 給与月額×7% → 7.25% → 10% (平成30年)

③期末勤勉手当 年間 3.95月 → 4.10月(+0.15月)

《給料と給与のちがい》

「給料」はいわゆる基本給のこと。
「給与」は基本給に諸手当を含んだもの。

武内まさふみ県政調査事務所

〒350-0416埼玉県入間郡越生町越生895

TEL& FAX 049-292-2802

Email take9uch@tenor.ocn.ne.jp
URL http://www.takeutimasafumi.jp

皆様のご意見をお寄せください。掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

「地方創生新時代」

～当地域の課題解決に向けて～

少子化に伴う人口減少が、我が国、とりわけ地域の大きな課題になっています。国では、「ひと、まち、しごと地方創生法」が成立しました。これからは、市町村が主体的に地域の特性に合った創生ビジョンを策定して、その実現のために国や県が支援するという仕組みで動きます。ですから、ますます市町村の役割が重要になります。また、市町村同士が連携を強め互いを高めていくことも必要です。

越生町、鳩山町が「消滅可能性自治体」の予想となりました。毛呂山町も決して余裕があるわけではありません。私たちは、人口減少に対し危機感を共有し、次の世代に活力ある地域を引き継ぐために、本気で取り組まなければなりません。私は、これまで取り組んできた「元気で活力ある地域づくり」を、引き続き重要テーマとして課題解決にチャレンジします。



鳩山町
小峰町長

越生町
新井町長

武内県議

毛呂山町
井上町長

<元気で活力ある地域づくりのための取組>

未来へつなげる活力づくり

- 関越道、圏央道など高速道路へのアクセス向上と道路網の整備を促進します。
- 地域経済を潤すために、観光・農業の産業化を促進します。
- 地域の活力を支える商店街を振興します。
- 企業誘致を進め地元での雇用を増やします。
- 「道の駅」などの地域活性化施設を県道バイパス沿いに整備します。
- 八高線の観光路線化を促し、沿線地域の活性化につなげます。
- 地域資源である県産木材の利用を促進します。
- 毛呂山町、越生町、鳩山町の広域連携を進め、地域の力を結集します。

未来へつなげる安全、安心づくり

- 様々な災害に対応した実効性のある地域防災計画を策定し、安全を確保します。
- 3町の地域資源である「里山」を活かして、持続可能な農業、エネルギー資源の創出をめざします。
- 医療と介護の連携を拡充して、超高齢社会に備えます。
- 元気な高齢者の活動を支援して、健康づくりと地域の活力を促進します。
- 通学路や生活道路の安全を確保するための整備を進めます。
- 少子化を解消するため子育てのしやすい環境づくりを進めます。

未来へつなげる人づくり

- 「知・徳・体」のバランスのとれた学校教育を推進します。
- 学校教育において子どもの情操に影響がある「食育」を進めます。
- 自国に誇りを持ち国際社会で活躍できる若者を育成します。
- ノーマライゼーション教育を拡充します。
- 若年者の就業場所の確保と就業支援を強化します。
- 心豊かな生活を実現するため、芸術・文化、スポーツ活動の支援を充実させます。

武内まさふみの活動日誌

■防犯キャンペーン (10月15日)

県主催で、地域防犯活動を行っている皆さんと共に、振り込め詐欺の防止を呼びかけました。今回は、越生町内の金融機関とスーパーの前で実施しました。



■八高線開通 80周年イベント (10月18日)

八王子と高崎を結ぶ八高線が全線開通80周年を迎え、JR毛呂山駅で記念イベントが行われました。旅客車両を連結した列車が高麗川駅から明覚駅まで走り、多くの鉄道ファンが集まりました。



■小学校での英語授業の視察 (10月22日)

町立鳩山小学校で行われている英語授業を視察しました。子どもたちは楽しそうに授業を受けていました。目いっぱいのカリキュラムの中で英語の必修化には、さまざまな課題があります。



■文教委員会の視察 (11月12日)

学術的に高い価値のある化石や鉱物などが展示されている県立自然の博物館(長瀬町)を視察しました。<写真> 体長12mといわれる巨大サメ「カルカロドン・メガロドン」



■危機管理・大規模災害対策特別委員会の視察 (11月18日)

本年2月に大雪被害のあった「彩の国くまがやドーム」(熊谷市)の復旧状況を視察しました。多目的運動場は平成28年4月から再開の予定です。



■越辺川・川のみるごと再生事業の着工式 (11月20日)

平成25年度からの3年間プロジェクトが、住民の皆さんとの協議が進み、いよいよ遊歩道の整備などに着工します。式典は毛呂山町の西戸グラウンドで行われました。



■国民保護実動訓練 (11月25日)

オリンピックなどの会場がテロによる攻撃を受けたと想定した実動訓練が、川越市の総合運動公園で行われました。消防、警察、県、自衛隊の連携が重要です。



■「みんなで育樹活動」への参加 (11月30日)

森林を育てる作業として、枝打ちを行う体験型の育樹活動が、上田知事の参加のもと毛呂山町大八木地区で行われました。私も木に梯子をかけて登り、枝打をしました。



「武内まさふみと県政を語る会」のご案内

① 日時 平成27年1月25日(日)15:00~(受付14:30から)
会場 ニューサンピア埼玉おごせ 武蔵の間

② 日時 平成27年2月11日(水) 祝日 15:00~(受付14:30から)
会場 ウィズもろやま(毛呂山町福祉会館) 第8、第9会議室

※いずれの会場も事前申し込みは必要ありません。鳩山町での開催も予定しています。